

# 図画工作科学習指導案

指導者 細野 小百合

1. 日時・場所 令和4年12月7日(水) 第6校時 場所 体育館
2. 学年・組 第4学年1組 26名
3. 「学習の方向性」から題材へ

## 造形的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む「学習の方向性」

○材料や場所などを基に造形的な活動を思い付き、工夫してつくる。

○活動したことや表現したもののよさや面白さなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる。

【A表現(1)ア(2)ア】 【B鑑賞(1)ア】〔共通事項〕

### 子どもたちの姿

- ・表したいことを見つけることが得意で、「こんなものを作りたい。」「こんな風にしたい。」という思いをもつことができる子どもが多い。
- ・制作途中で難しいと感じることがあったり、うまくいかないことがあったりすると、制作意欲が下がってしまい、「こうしてみるといいかもしれない。」「じゃあこう表現してみようかな。」など、自分の力で試行錯誤することが難しい。

### 教師の願い

- ・表し方に困る場面があっても、違う表し方を見つけたり、制作する過程からさらに表したいことを見つけたり、友だちの活動からよさや面白さを見つけたりして、自分の思いを膨らませ、試行錯誤しながら工夫して表すことができるようになってほしい。
- ・これまでは机に座ってつくる活動が多く、体全体を使った表現活動の経験がほとんどないため、ダイナミックな活動ならではの迫力・美しさを感じて見方や感じ方を広げてほしい。

### 題材名

つなげて つなげて あっちへ こっちへ おっと、そっちも!?  
～つなげ方を工夫して、体育館をストロアートの世界にしよう～

### 題材目標

○モールを使ってストローをつなぐ時の感覚や行為を通して、つないでできる形や色の感じが分かり、ストローとモールを繋いだり多方向に組み合わせたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫して表すようにする。

○つないでできる形や色の感じや場所などを基に、自分のイメージをもって新しい形や色の「組み合わせ」を思い付いたり、新しい形や色を思い付いたりしながら、どのように活動するかについて考えるとともに、制作の過程などの造形的な良さや面白さを見つけ、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げるようにする。

○進んで表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、形や色などに関わり、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うようにする。

## 題材について

・本題材は、ストローにモールをさしてつなげていく活動を通して、モールの組み方を考えたりストローの色や種類から、造形的な活動を思いついたりしながら表現する活動である。子どもたちは、モールを使って、色が異なるストローや曲がるストロー、曲がらないストローがどんどんつながりながらできる形からさらにイメージをもち、つくり続けることができる活動である。また、モールを使うことでストローを簡単に、そして自由につなげることができるため、活動することの難しさの壁が低く、造形的な活動を思いつき表す活動に十分専念することができる。

・活動場所にひもを多方向からはることにより、下から活動を広げる子と上から活動を広げる子などがつながることで、友だちの活動とのつながりができてイメージが広がり、さらに友だちの活動の様子から自分の見方や感じ方を広げることができる考える。

### ○「学習の方向性」を基に育成を目指す資質・能力と本題材との関連

つなげたり曲げたりすることで、自由に形を作ることができる材料のため、子どもたちがつくりながら活動を思い付き、活動し続けることができる。また、体育館という広い場所で活動することで、友だちの活動を見渡すこともでき、友だちの活動のよさや面白さを感じ取ることもできる。最後にタブレット端末に写真や動画を撮る活動をすることで、大きな活動の迫力や面白さを感じたり、空間をのぞいて奥行きを感じたりすることで、見方を広げることができる。また、自分とは違った友だちの見方や感じ方を知ることで自分の見方や感じ方を広げることができる。

## 4. テーマに迫るために

### 研究主題

# 感性豊かに生きる力をはぐくむ図画工作科学習の創造

～感じる つくる 考える 子どもの姿を求めて～

### 部会テーマ

工夫してつくることを楽しむ子どもの姿を目指して

### ○出あいの工夫

モールとストローの組み合わせ方を工夫すると、モールの曲がる特性やモールを組むことができる特徴から曲がった形を作ることや、ストローを多方向に伸ばすことができることを知ることで、次々につなげていくことができる面白さに気づくことができるようにする。また、曲げることができるストローと直線のストロー、カラーのストローを使うことで、ストローの組み合わせの幅が広がり、イメージを上げられるようにする。

### ○場の設定の工夫

活動場所にひもを多方向からはり、下から活動を広げる子と上から活動を広げる子などがつながることで、友だちの活動とのつながりができてイメージが広がりやすいようにする。また、白いシートを下に敷くことで、カラーストローの色が見えやすくし、活動場所が視覚的にわかりやすいようにする。また、体育館の広さをある程度狭め、友達の活動を近くで見ることができる場づくりをする。

### ○共感的支援の工夫

子どもたちが造形的な活動をさらに思いつくことができるように、多方向から見て、よさを言葉にして伝えていく。教師が活動の中でよさを見とり、聞く中で、子どもの活動の中によさを見つけ、それを伝え、価値付ける。

○小中一貫の視点

本題材では、ストローとモールという二つの材料を用意し、ひもをはることで平面的な活動だけでなく、立体的な活動になるようにした。ここで身に付けた資質能力は、高学年での立体や工作、中学校での彫刻に表す活動や工芸に表現する活動につながっていくと考えられる。

5. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・モールを使ってストローをつなぐ時の感覚や行為を通して、つないでできる形や色の感じが分かっている。</li> <li>・ストローとモールをつないだり多方向に組み合わせたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫して表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つないでできる形や色の感じや場所などを基に、自分のイメージをもって造形的な活動を思い付いたり、新しい形や色を思い付いたりしながら、どのように活動するかについて考えている。</li> <li>・制作の過程などの造形的なよさや面白さを見つけ、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モールを使ってストローをつなぐ学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり、楽しく豊かな生活を創造しようとしている。</li> </ul>

6. 指導と評価の計画 1時間 (本時2/3)

ア. ストローとモールのいろいろなつなぎ方でつないでみて、できる形の感じを知り、造形的な活動を工夫して表す。

イ. 造形的な活動の過程でできた形やつないでできた形のよさや面白さを見つける。

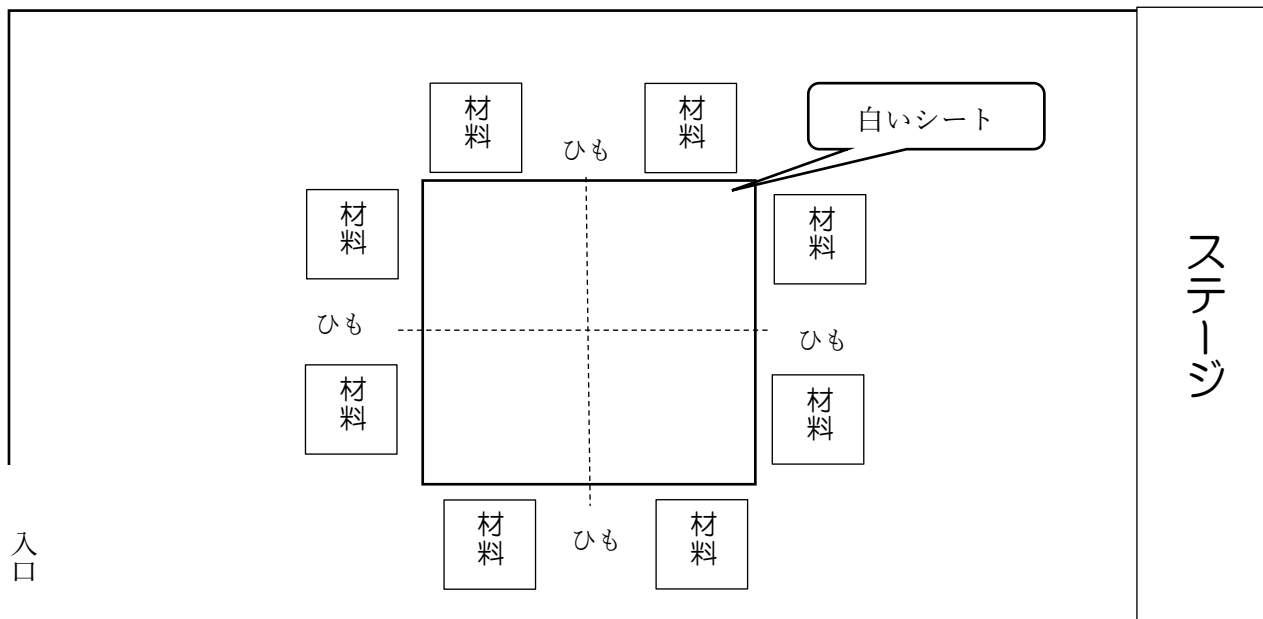
	子どもの学習活動	評価規準	教師の指導	知・技	思・判・表	主体的
1	ア. ストローとモールのつなぎ方をためしたら、どんなことができるかな。					
	○ストローとモールのつなぎ方を試し、つなげる方法を紹介しあう。	<p><b>知・技</b></p> <p>モールを使ってストローをつなぐ時の感覚や行為を通して、つないでできる形や色の感じが分かっている。</p> <p>【活動の様子】</p>	○子どもたちが見つけたつなぎ方からいろいろなつなぎ方があることを紹介する。			

<p>1 本 時</p>	<p>○自分がつくったものを体育館に持っていき、好きな場所に置いたり吊るしたりする。</p>			
<div data-bbox="256 389 1166 506" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>イ. みんなの活動でできたものを組み合わせて、あっちへこっちへ どンドンくふうしてつなげていこう！</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="256 506 536 1144"> <p>○みんなで置いたり吊るしたりしたものと、たくさんの材料から、これからどのように活動していきたいか発表する。 ○ストローをつないだり組み合わせたりして新しい形をつくり出すことを楽しむ。</p> </td> <td data-bbox="536 506 903 1144"> <p style="text-align: center;"><b>思・判・表</b></p> <p>自分のイメージをもって造形的な活動を思い付いたり、新しい形を思い付いたりしながら、どのように活動するかについて考えている。【活動の様子】【つぶやき】【対話】</p> <p><b>主体的</b></p> <p>つくりだす喜びを味わい進んで表現する学習活動に取り組もうとしている。【活動の様子】</p> </td> <td data-bbox="903 506 1190 1144"> <p>○活動が広がるように、子どもたちの意見を題材名と絡ませ、「どンドンつなげる」ことを意識させる。 ○見方、感じ方が広がり、イメージを膨らませられるように、友だちと活動が繋がってもよいことを伝える。</p> </td> </tr> </table>	<p>○みんなで置いたり吊るしたりしたものと、たくさんの材料から、これからどのように活動していきたいか発表する。 ○ストローをつないだり組み合わせたりして新しい形をつくり出すことを楽しむ。</p>	<p style="text-align: center;"><b>思・判・表</b></p> <p>自分のイメージをもって造形的な活動を思い付いたり、新しい形を思い付いたりしながら、どのように活動するかについて考えている。【活動の様子】【つぶやき】【対話】</p> <p><b>主体的</b></p> <p>つくりだす喜びを味わい進んで表現する学習活動に取り組もうとしている。【活動の様子】</p>	<p>○活動が広がるように、子どもたちの意見を題材名と絡ませ、「どンドンつなげる」ことを意識させる。 ○見方、感じ方が広がり、イメージを膨らませられるように、友だちと活動が繋がってもよいことを伝える。</p>	
<p>○みんなで置いたり吊るしたりしたものと、たくさんの材料から、これからどのように活動していきたいか発表する。 ○ストローをつないだり組み合わせたりして新しい形をつくり出すことを楽しむ。</p>	<p style="text-align: center;"><b>思・判・表</b></p> <p>自分のイメージをもって造形的な活動を思い付いたり、新しい形を思い付いたりしながら、どのように活動するかについて考えている。【活動の様子】【つぶやき】【対話】</p> <p><b>主体的</b></p> <p>つくりだす喜びを味わい進んで表現する学習活動に取り組もうとしている。【活動の様子】</p>	<p>○活動が広がるように、子どもたちの意見を題材名と絡ませ、「どンドンつなげる」ことを意識させる。 ○見方、感じ方が広がり、イメージを膨らませられるように、友だちと活動が繋がってもよいことを伝える。</p>		
<p>1</p>	<p>○いいなと思ったところ、面白いと思ったところを発表し合う。  ○友だちの話を聞いて、自分にはなかった感じ方を確認し、もう一度みんなの活動からできたものを見て、自分の中の新しい感じ方を見つける。</p>	<p style="text-align: center;"><b>思・判・表</b></p> <p>制作の過程などの造形的なよさや面白さを見つけ、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。【発言】 【振り返りカード】</p> <p><b>主体的</b></p> <p>つくりだす喜びを味わい進んで表現する学習活動に取り組もうとしている。【活動の様子】</p>	<p>○感じ方を広げられるように、自分の考えと違うところに注目するように伝える。  ○自分の中の新しい感じ方に気づくことができるように、友だちがどこからどのように感じたのかを確認しながら見るように伝える。</p>	

7. 準備 児童

教師 ストロー（ストレートのものとジャバラのもの）、モール、ひも、シート（白）

8. 場の設定【体育館】



9. 本時の計画

子どもの学習活動	評価規準	教師の指導
<p>みんなの活動でできたものから、あっちへこっちへどんどんつなげていこう！</p>		
<p>○みんなで置いたり吊るしたりしたものと、たくさんの材料から、これからどのように活動していきたいか発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっとモールを組んで、ストローをたくさんつなげていきたい。</li> <li>・床に届くくらい、もっとつなげていきたい。</li> <li>・友だちのストローとつなげていきたい。</li> <li>・クモの巣みたいに、つながりを広げていきたい。</li> </ul> <p>○ストローを繋いだり組み合わせたりして新しい形をつくり出すことを楽しむ。</p> <p>○友だちの活動を見たり、会話をしながら友だちの活動の良さを感じたり、自分の活動を広げたりする。</p>	<p><b>思・判・表</b></p> <p>自分のイメージをもって造形的な活動を思い付いたり、新しい形を思い付いたりしながら、どのように活動するかについて考えている。</p> <p>【活動の様子】 【つぶやき】 【対話】</p> <p><b>主体的</b></p> <p>つくりだす喜びを味わい進んで表現する学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【活動の様子】</p>	<p>○前時に出た、主なつなげ方をもう一度確認する。</p> <p>○活動が広がるように、子どもたちの意見を題材名と絡ませ、「どんどんつなげる」ことを意識させる。</p> <p>○見方、感じ方が広がり、イメージを膨らませられるように、友だちと活動が繋がっても良いことを伝える</p> <p>○子どもたちが造形的な活動をさらに思いつくことができるように、表現するものを多方向から見て、良さを言葉にして伝えていく。</p> <p>○「美しい」「きれい」を子どもの言葉で表せるように聞き取り、その感じ取った子どもの感じ方を価値づける。</p>

12月7日	第4学年	
【授業者】	青葉区 荏子田小学校 細野 小百合 先生	
【題材名】	つなげて つなげて あっちへ こっちへ おっと、そっちも!?	

【自評】

- ・今回は体育館だが教室でもできる。
- ・ストローの太さ、モール太さを考えると、教室でもできる。
- ・色が混ざらないように、白いシートを敷いた。
- ・紙を丸める作業につまずく児童がいるので、ストローやモールを選んだ。
- ・総合でSDGsを学んだ。繰り返し使えるものにした。
- ・1時間目は数を限定して行った。  
自分一人の作品・自分のもの。
- ・床に這うものばかりになった。教師としては立体的にしてほしかった。効果的な声掛けは？

【研究協議】

- ・前時でモールを出して置き、次はつなげていいからねと声掛けをしておく。本時で友達とつなげていく活動をしていくとよい。
- ・形や色の広がり、伸ばす方向  
ストローの色…黒や青を選びがち。→白いシートに映える。黒、青だけでもよかった？
- ・ひもを2段、3段にすれば、立体的に広がった。自然と意図的に見合える場の設定（材料）
- ・「自分一人の作品できた」でもよいと思う。断定的な声掛けより、問いかけをすると児童が気になり、見合うことができる。
- ・問いかけをすることで、児童の活動が見え、評価につながる。
- ・子ども一人ひとりの活動の変化を見るのは難しい。
- ・自分の活動に没頭できれば良い。はじめから友達との活動にすると個人の発想がしづらい。
- ・三角形をつなげようとしても、辺がぶつかってつなげられない。  
⇒新しいつなげ方を見付け、工夫してどんどんつなげていった。周りの子にも広がっていった。
- ・白いシートは活動範囲が分かりやすい。色が映える。
- ・下に置いてあるだけでもきれい。
- ・色にこだわりをもっている児童もいた。
- ・ストローにモールをさすだけの児童は楽しめたのだろうか？
- ・自分の思いをもって活動できるようにしたい。
- ・自分の作品→1本長くつなげる。ひもを低くする。増やす。平均台等で段差を出して、たらしでもよかった。
- ・他のクラスでひもを低くしたら、またぐ児童がいて作品を落としてしまうことがあった。  
段差もつけたかったが、児童の実態に合わせてなくした。
- ・1本長くつなげるだけでも動きが出ているからおもしろい。上から見ても印象がかわる。  
鑑賞はどのようにするのか？  
⇒iPadで写真・動画を撮影。コメントを入れ提出→共有(友達のコメントを書けるようにしておく)

⇒新しい考えを共有。見方・考え方を広げる。

- ・給食の時に、ストローをつなげる活動をした児童もいた。
- ・新聞紙だと強度が低い。ストローモール強度が高い。
- ・ストローとモールのつなげ方をどこまで子どもたちに追究させるかが大切。  
まずは自分でつなげる→となりとつなげる→グループで…
- ・つなげ方をこだわらせるには、自分のつなげ方以外の方法に触れさせる。
- ・いろいろな色を使わせるために、全色を一か所に置いておく。教師から、なんでこの色を使っているの?と問いかけて、色に注目させる。
- ・モール 3ミリ 6ミリ 9ミリがある。ストローは、ネット注文可。  
1000本入り 約500円 種類が豊富(5色) 口径3.5ミリ
- ・「つなぐ」キーワード→活動が広がる。ダイナミックになる。個人の活動だと立体の工作になる。  
友達とつなげることで広がっていく。
- ・操作が簡単で児童の実態に合っている。
- ・ダイナミックな活動にするには、場をもっと広くしてもよかった。
- ・狭いから手元だけで終わってしまったのでは?

#### 【指導講評】

- ・ホワイトボードの導入の掲示が簡潔で分かりやすい。
- ・ある児童の様子…モールがほしい はじめからやる気があった。  
他の児童「つなげよう」と声をかけ、活動が変化。
- ・遊び込む。集中して取り組むことが大切。実態にあった材だった。最後に鑑賞をするのではなく、活動をもっとしてもよいと思う。
- ・造形遊びは、材料、場所、工夫してつくる。今回は教室にしたほうがあっている。
- ・ストローの位置は、色を比べて選び取ることができるので、一か所に集めればよかった。
- ・紐をふやせば、つながりが増える。つなぎたいタイミングは児童によって違う。
  
- ・授業が終わって、道具を片付けた後に、1・2分いろいろな見方をしてみると鑑賞ができる。
- ・材について 造形遊び  
自然の材(加工していないもの)  
人工的なもの(プラカップ・洗濯ばさみ・パイプ椅子・傘・布など)  
学年・実態 キーワード「つなぐ」に合う材  
場面・場所・やり方 子どもの姿を想像して選ぶ。  
環境…リサイクルできるもの、長く使えるもの  
⇒次年度以降も使える材
  
- ・新しい材で提案性があった。
- ・ストロー(材)に深く関わることができた。
- ・造形的な活動を最後まで続けることができた。

- 活動を高めるためには、  
主体的な姿「つなげたい 広げたい 関わりたい」  
表現と鑑賞(自然と鑑賞できる場にする) 対話を生み出す。  
個人の活動から自分、友達のイメージがつながる。これを教師が引き出す。
- 場の設定を子どもの活動に合わせて変化させる。